

# インフラ系技術SWG活動方針

日本電信電話株式会社、青木道宏

エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社、吉田 良雄

三菱電機、横谷哲也

日本電気株式会社、大和 理

アンリツ株式会社、三隅 秀俊

株式会社富士通研究所、石原 智宏

沖電気工業株式会社、大崎 淳

株式会社KDDI研究所、熊木 健二

横河電機株式会社、永田 和生

独立行政法人情報通信研究機構、盛岡 敏夫

株式会社日立製作所、金田 泰

# インフラ系技術SWG

## 活動方針(1)

### ・ エンドエンドQoS制御技術

- 検討内容:NGNではエンドエンド QoS制御を行うためにRACF (Resource Admission Control Function)の規定を行ってきた。 RACF の制御範囲はCore Network、及びAccess Networkであり、CPN (Customer Premises Network)に対してはQoS制御が検討課題となっている。

またホームNW、及びインターネットのような非NGNとの相互接続を考慮した際のエンドエンドQoSの実現がNGNを推進していく上で必要不可欠である。これらはRACF等の機能とは別にユーザ主導のQoS制御方式を用いることが可能であり詳細方式を規定する必要がある。

IPベースのQoS提供技術は広く確立しつつあるが、アクセス系等でのレイヤ2ベースの多重化時の振る舞いを考慮した制御技術が確立できておらず、検討課題となっている。

- 活動方針:NGNリリース2標準化を目的としてSG12,13,15,16に提案するとともにプロトコル標準化はIETF、IEEEも活用する。
- 最終目標:2008年~2009年頃の完成が期待されるNGNリリース2向け要求条件、アーキテクチャの標準化を目指し、プロトコル等の2010年に向けた標準化を目指す。
- 2007年度マイルストーン:SG13のリリース2に向けた課題抽出、及びユースケースの提案を行う。
- 活動頻度:メールベースでの議論を主としITU-Tの関連SGの開催に合わせて会合を開催。

# インフラ系技術SWG 活動方針(2)

- ・ 機能分散型トランスポート技術
  - 検討内容:1万ノード規模でNGNの新サービス、高機能QoSを随時提供可能な新たな機能配備を創出し、本格提供時のNGNの実現とさらなる将来対応性を担保するための、機能分散型のトランスポート技術。
  - 活動方針: NGNリリース2以降での各国事業者のニーズの実現が容易な機能分散型トランスポートネットワークの標準案策定を目指す。必要に応じて、プロトコル実装、標準インタフェースに関する標準化の確立も目指す。これらを推進するために、ITU-T SG13をベースに仲間作りを進め標準化を推進するとともに、必要があれば、他団体（IETF、IEEE等）への提案も実施する。
  - 最終目標:2010年にITU-Tでの標準化を目指す。2008年～2009年頃の完成が期待されるリリース2向けの要求条件、アーキテクチャの標準化を探る。
  - 2007年度マイルストーン:
    - ・ 9月:方式検討、基本機能検証。
    - ・ 3月:標準化方針、戦略の立案。
  - 活動頻度:メールベースでの議論を主としITU-Tの関連SGの開催に合わせて会合を開催。

# インフラ系技術SWG 中期スケジュール

| 検討テーマ              | 2007年度  | 2008年度                                       | 2009年度              | 2010年度              |
|--------------------|---|--|---------------------|---------------------|
| エンドエンドQoS<br>制御技術  | 方式検討 →  |  |                     |                     |
|                    | 寄書作成 (12月) →<br>寄書作成 (4月) →<br>寄書作成 (9月) →<br>GSI 会合 (4月) △ (9月) △ (1月)<br>△ (5月) △ (10月) | IETF/IEEE活動<br>寄書作成 (9月) →<br>△ (5月) △ (10月) | 寄書作成 →<br>ITU-T会合 △ | 寄書作成 →<br>ITU-T会合 △ |
| 機能分散型トラン<br>スポート技術 | 方式検討 →  |  |                     |                     |
|                    | 標準化戦略 →<br>寄書作成 (4月) →<br>寄書作成 (9月) →<br>GSI 会合 (4月) △ (9月) △ (1月)<br>△ (5月) △ (10月)      | IETF/IEEE活動<br>寄書作成 (9月) →<br>△ (5月) △ (10月) | 寄書作成 →<br>ITU-T会合 △ | 寄書作成 →<br>ITU-T会合 △ |